

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	農地・農業用施設災害復旧事業	会計名称	一般会計		担当課	農林水産課	
		予算科目	11 款 1 項 1 目	事業番号	5240	所属長名	角田栄治
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	中沖賢一	
法令根拠等	農林水産省施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律 (暫定法)				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 魅力ある農業の振興					【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	魅力ある農業の振興						
事業の対象	農業者等 (受益者)			事業の目的	被災箇所の復旧を行い、農地・農業用施設の機能回復を図る。		
事業の内容 (整備内容)	農地、農道、水路、頭首工等の機能回復			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29 年度実績	30 年度予定	9月末の実績	30 年度実績
直接事業費	0	116,501	184,443	0	154,080	107,525	災害復旧事業費	千円	0	300944	36666	107525
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	88,553	158,907	0	115,170	86,085						
地方債	0	0	10,600	0	0	8,500						
その他	0	5,081	4,870	0	4,859	3,349						
一般財源	0	22,867	10,066	0	34,051	9,591			0			
職員の人工 (にんく) 数	0.08	0.25				0.25						
1人工当たりの人件費単価	8,017	7,982				7,982			0			
※ 直接事業費+人件費	641	118,497				109,521						
主な実施主体	伊予市		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		請負・委託							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	5年間の合計		
										0		
成果指標	指標	実施事業量÷被災事業量	単位	⇒	区分年度	29 年度	30 年度	31 年度	目標	毎 年度		
			%		目標	100	100	100				
	指標設定の考え方	被災事業量に対する実施事業量の割合を上げることで、機能回復を図ることになる。			実績	0	35.7					
	指標で表せない効果											

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		被災箇所の関係者と連絡を密にし、早期復旧に努める必要がある。													
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	農地・農業用施設が被災したため、地元関係者等と連携し被災状況の把握に努め、復旧工事実施に向け調査、設計を実施した。						
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4										
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3										
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4										
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4										
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	4										
	効率性	手段の最適性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		事業の苦勞した点・課題	2年連続での大規模災害により復旧工事については業者不足等により、繰越事業となった。早期復旧に向け、予算確保はもちろんのこと、技術者の育成、確保が重要となる。					
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4										
		市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3											
	一次判定 (所属長)	妥当性	社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A				事業の苦勞した点・課題	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 本事業は、天災により被災した農道・水路等農業用施設を復旧する事業であり、施設の機能回復を図るうえで必要と認められるため継続と判断する。			
			事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4										
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4										
効率性		手段の最適性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4			合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					A	事業の苦勞した点・課題	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 本事業は、天災により被災した農道・水路等農業用施設を復旧する事業であり、施設の機能回復を図るうえで必要と認められるため継続と判断する。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4										
		市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3											
効率性	コスト効率	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の苦勞した点・課題	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 本事業は、天災により被災した農道・水路等農業用施設を復旧する事業であり、施設の機能回復を図るうえで必要と認められるため継続と判断する。							
		社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4											
	市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3												
所属長の課題認識	コスト効率	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A			事業の苦勞した点・課題	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 本事業は、天災により被災した農道・水路等農業用施設を復旧する事業であり、施設の機能回復を図るうえで必要と認められるため継続と判断する。					
		社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4											
	市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3												

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営最終者判断議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。		